

カトリック 三田小教区報

2023年 3月号(No. 245)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

コンプレックス

京都のとある大学で学長を務めていた方のインタビュー番組を見ました。アフリカはマリ出身の彼にとって、日本での生活はとても困難なものであったこと。日本人の表情が読めないのと何を考えているのか伝わってこないことで自分との距離感が難しかったといえます。

ある時、日本人の仲間とマリを訪れた時のこと、その仲間が体調を崩して病院に行った時に、医者がまず握手をして、熱があるなどいい、体を触りながら話しをしたという。道具を先に使うのではなくて、人間的な触れ合いから診断が始まったというのです。日本人の仲間はそのことに感動したのだそうです。実は、彼はマリのそういった部分は自分にとってはコンプレックスだったそうで、あまり触れたくなかったことだったそうです。

このことがあって、あらためて、そのマリに見逃していた大事なものがあるのではないかと考えた。そして思い出したのが、マリの各家にある中庭だそうです。みんなが集まるその中庭では、それなりにルールがあって、コミュニティーができていて、皆がちゃんと一日を過ごせるように、ケンカもしながら調整しながら生活する場所、それが中庭だったというのです。他の人も受け入れながら自分のこともちゃんと伝えていく。お互い認め合うような姿勢をつくっていく場だそうです。多様性とは個々人お互いに違いがあることを認識すること。違いを足しあうことによって新しいモノや体験ができる社会が生まれることが大切だと思うと彼は言います。

彼は、自分の出身地のコンプレックスがあって、コンプレックスがあったときはマリの良さも見出すことができなかつた。コンプレックスを取り去ると、実は見えなかつた本当の良さが見えるようになったということですね。

コンプレックスとは、色んな意味があるようですが、私たちが普段使うこの言葉の意味は、劣等感。つまり自分の嫌いな部分ともいえるのでしょうか。なので人からも自分自身からも隠そうとするのですが、実は、そのコンプレックスは、他にない神さまから与えられた大切なタレントだということに気がついたとき、それを自分の強みに生かしていくことができる。そういうことではないでしょうか。

四旬節は荒れ野での神との出会いの原点に立ち返るとき。着飾った自分ではなく、本当の自分に向き合って、自信をもって力強く歩みだす機会にしたいものです。

三田教会 神田裕

3 月 教 会 行 事			※朝の祈り(毎日曜日9時15分)⇒(中止) ミサ前、各自で静かに祈って下さい。 ※週日(水・金)のミサ:9時30分(司祭不在時はありません)
1	水		
2	木		
3	金	世界祈祷日	丹有地区祈祷会(中止)
4	土		祭壇花当番:西地区
5	日	四旬節第2主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(敷地外周)／西(聖堂)／中(トイレ)／南(集会室・前庭) ゆるしの秘跡
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金	性虐待被害者のための祈りと償いの日	
11	土		祭壇花当番:東・北地区
12	日	四旬節第3主日	ミサ:午前9時30分 四旬節黙想の日 清掃当番:東・北(聖堂)／西(トイレ)／中(集会室・前庭)／南(敷地外周) ゆるしの秘跡 ポルトガル語ミサ:午後3時 司式:ヌノ・リマ神父
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金	日本の信徒発見の聖母	
18	土		祭壇花当番:南地区
19	日	四旬節第4主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(トイレ)／西(集会室・前庭)／中(敷地外周)／南(聖堂) ゆるしの秘跡 定例評議会
20	月	聖ヨセフの祝日	
21	火	教区召命の日 [春分の日]	
22	水		
23	木		
24	金		
25	土	神のお告げ	小教区報印刷日 祭壇花当番:中地区
26	日	四旬節第5主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(集会室・前庭)／西(敷地外周)／中(聖堂)／南(トイレ) ゆるしの秘跡
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

※ 4月のミサの朗読・共同祈願担当地区は → 東地区です。

※新型コロナウイルス感染症対策などで、行事等が中止になる場合があります。